

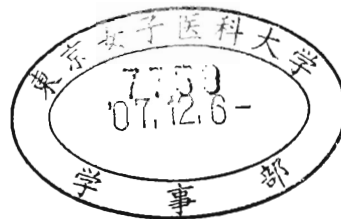
テュートリアル課題 外出困難

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29000

2007年度 Block. 6 後期

課 題 No. 8

「外出困難」



で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

柴田 興一（東医療センター内科）

シート1

ある日、春子さんが久しぶりに72歳の母親のハツさんの家を訪れた時の会話。

春子「最近、調子はどうなの？」

ハツ「少し便秘気味で、かかりつけの先生からは下剤をいただいているわ。」

春子さんは、母との会話で以前に比べ声にはりがなく元気がないように感じました。

抽出が期待される事項

高齢者

便秘（C-2）

声にはりがない

シート2

家から10分ほどのところにある店に2人で買い物に行くことになりました。春子さんは、母が玄関で仕度をするのにも思いのほか時間がかかるのが気になりました。

ハツ「腰が痛いのでどうしても動くのがつらくて年のせいで仕方がないと思っているわ。この前、かかりつけの先生に診ていただいた時に一度専門の先生の診察を受けるように言われたわ。」

結局、スーパーに着くまで15分もかかってしまいました。

春子さんは母の前屈みになりがちな歩き方にも年のせいばかりとも思えなくなり早めに診察を受けることに決めました。

抽出が期待される事項

動作に時間がかかる

腰痛 (B-2)

年のせい (A-1)

前屈歩行 (C-1)

シート 3

診察室での会話。

担当医「夜はよく眠ることができて、食欲もあるようですね。便秘の薬以外に何かお薬を飲んでいますか？」

ハツ「骨粗鬆症と言われていますが、薬は飲んでいません。」

担当医「右手のふるえは気づいていましたか？」

春子「本人には言いませんでしたが、ふるえは2年前からあり気になっていました。体の動きが悪くなったのも腰痛のせいだと思っていました。」

担当医「おおよその検査は前の病院でされているようですね。」

提示資料

- 1) 身体所見、神経学的所見
- 2) 血液・生化学検査
- 3) 腰椎エックス線写真
- 4) 脳MRI

抽出が期待される事項

- 骨粗鬆症 (C-3)
- 手のふるえ (A-2)

シート4

診察室での会話の続き。

春子「パーキンソン病は、難病といわれていますよね。パーキンソン症候群という病名もありますがどのような病気なのですか？」

担当医「・・・」

ハツ「治療についても最近はいいい薬があるのですね。」

春子「薬を処方してもらうのにどのくらいお金がかかるのでしょうか。そういえば、最近難病医療費適応範囲見直しという記事を読みましたが、医療費はそんなにかかるものなのですか？」

提示資料

新聞記事（1，2）

抽出が期待される事項

パーキンソン病（A-2）

パーキンソン病の治療（A-2）

パーキンソン症候群（B-1）

医療費の高騰（A-3）

シート5

治療を始めてから半年後の診察室での会話。

主治医「表情がだいぶ明るくなりましたね。」

ハツ「体の動きが以前よりよくなりました。夫が死んで3年になりますが薬で症状が少しでもよくなればと思って頑張っています。」

主治医「歩くのはいかがですか？」

ハツ「娘からもいつも転ばないように気をつけることを言われています。」

主治医「介護保険制度はご存じかと思いますが、最近は介護予防という点にも重点がおかれているのです。」

抽出が期待される事項

転倒予防

介護保険制度と介護予防（B-3）